

総合的な学習の時間 「手話教室」

横須賀市立北下浦小学校



単元（題材）目標

- 聴覚障がい及び聴覚障がい者について正しく理解し違いを知る。
- コミュニケーション方法を知る。あいさつの手話を学ぶ。

（1）実施時期

「手話教室」 平成 30 年 9 月 27 日（木）
「秋の読書祭り」平成 30 年 11 月 9 日（金）

（2）対象（学年等・人数）

第 3 学年 42 名 小学校教員 2 名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭 2 名
横須賀ボランティアセンター職員 2 名



（4）実施内容

①聴覚障がいについて

- 「聞こえない人はどっち？」
- 講師の方 自己紹介（空書） ひらがな（講師）
- 見えない障がい……聴覚障がいは見てもわからない障がいであることに気づく
- 聞こえないと困ることは何？
 - ・いつも聞こえる音を意識して考える……チャイム・情報など
- 普段の生活の中で不便なことは何だろう？
 - ・講師の方の体験談を聞く

②コミュニケーション方法を学ぼう

- ・口話／筆談／身振り／空書／手話／指文字
- ・ゲームを通してコミュニケーション方法を学ぶ……口型ゲーム・身ぶりゲーム

③講師の方から

- ・お願い……災害や避難時・避難場所のできること

（5）成果

- 手話を通じたコミュニケーションをとる方法を学ぶことで、自分の世界が広がることを知り、積極的にコミュニケーションをとろうとする意識の高まりにつながった。
- 毎年実施されている「秋の読書祭り」において、今回の学習で学んだこと、聴覚障がいの方とのコミュニケーション方法を紹介し、全校で手話を実践する等、コミュニケーションツールによる積極的なコミュニケーションの大切さや聴覚障がいについて学んだことを多くの人に広げるきっかけともなった。

（6）その他

- 「読書祭り」は保護者の参観もあり、地域を豊かにする取り組みにもなってよかった。